

滋賀県競技力向上基本計画の改定について

◆趣旨

滋賀県競技力向上基本計画は「滋賀県スポーツ推進計画」、「第 79 回国民体育大会開催基本方針」実施目標を具現化するための計画として平成 26 年 12 月に策定した。

計画では準備期、充実期、躍進期の段階的目標と目指す姿を示し、各期の終了後に見直しを行うこととしており、準備期（平成 26 年度～平成 28 年度）の取組等を踏まえ、基本計画の見直しを行う。

◆改定の概要

国体の開催基本方針が、平成 27 年 8 月に「第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会開催基本方針」に改められ、全国障害者スポーツ大会開催基本方針が新たに加わったこと、および準備期の取組の総括を踏まえ必要な改定を行う。

① 障害者スポーツに関する目標を追加

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会開催基本方針の改定にともない障害者スポーツに関する目標を追加

<参考>

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会開催基本方針 実施目標

(7) すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会

障害のある人が主体的に大会に参画することや、障害の程度に関わらず日常的にスポーツに親しむ環境を整えることで自己実現の機会を上げるとともに、障害のある人もない人もみんなでスポーツを楽しむことを通じて、人と人との絆を育み、障害への理解を深め、ともに支え合う社会を築きます。

② 3 年間の競技成績を追加

平成 25 年度までのデータに平成 26 年度から 28 年度の 3 年間を追加

◆改定のスケジュール

平成 29 年 5 月 8 日 滋賀県スポーツ推進審議会 意見聴取

5 月 30 日 滋賀県競技力向上対策本部 競技力向上対策委員会 意見聴取

6 月 滋賀県競技力向上対策本部会議 意見聴取

※ 適宜、検討状況を議会に報告し、平成 29 年度の早い時期に計画改定

滋賀県競技力向上基本計画改定 主な見直し（素案）

◆滋賀県競技力向上基本計画の目標

現行計画	素案
<p>計画を着実に推進するためには、明確な目標の設定が必要であることから、滋賀県競技力向上基本計画の目標を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第79回国民体育大会において男女総合優勝である天皇杯獲得とします。あわせて、 ・平成27年から平成36年までの10年間にオリンピック・パラリンピックなどの国際大会に出場する本県出身の選手30人以上の輩出 ・国体終了後も本県の競技スポーツの発展に努め、国体を契機に高めた全国トップレベルの競技水準の定着 <p>を目指します。これらの目標達成に向けた種々の取組を通じて、県民が夢や希望を育み、活力ある元気な滋賀を実感できる、幸福で豊かな共生社会の実現を目指します。</p>	<p>計画を着実に推進するためには、明確な目標の設定が必要であることから、滋賀県競技力向上基本計画の目標を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第79回国民体育大会において男女総合優勝である天皇杯獲得とします。あわせて、 ・<u>第24回全国障害者スポーツ大会に向けた取組を通じた障害者スポーツの普及・競技水準の向上、および障害者の社会参加や障害理解の促進</u> ・平成27年から平成36年までの10年間にオリンピック・パラリンピックなどの国際大会に出場する本県出身の選手30人以上の輩出 ・国体終了後も本県の競技スポーツの発展に努め、国体を契機に高めた全国トップレベルの競技水準の定着 ・<u>障害者アスリートが国際大会などの上位大会を目指せる環境づくり</u> <p>を目標とし、これらの目標達成に向けた種々の取組を通じて、大会後も県民が夢や希望を育み、活力ある元気な滋賀を実感できる、幸福で豊かな共生社会の実現を目指します。</p>

◆充実期の目標…アスリートの育成、躍進期の選手育成を支える指導者の確保
充実期に目指す姿

現行計画	素案
<p>◇強化拠点となった学校・地域などで育成強化活動が活発に行われるとともに、国体開催年に照準を合わせた年代対象の強化事業が行われるなど、戦略的なアスリート育成を図っています。</p> <p>◇指導者同士の意見交換・情報交換が活発に行なわれることで、技術面や戦略戦術面での資質を向上させるとともに、食事指導やケガの予防、メンタルトレーニングなどの知識を有した指導者を増やしています。</p>	<p>◇強化拠点となった学校・地域などで育成強化活動が活発に行われるとともに、国体開催年に照準を合わせた年代対象の強化事業が行われるなど、戦略的なアスリート育成を図っています。</p> <p>◇指導者同士の意見交換・情報交換が活発に行なわれることで、技術面や戦略戦術面での資質を向上させるとともに、食事指導やケガの予防、メンタルトレーニングなどの知識を有した指導者を増やしています。</p> <p><u>◇障害者スポーツへの理解が進み、県内の障害者スポーツ大会に参加する人が増加し、全国障害者スポーツ大会への準備が整いつつあります。</u></p>

◆躍進期の目標…アスリートの実力向上、強化スタッフ体制の確立
躍進期に目指す姿

現行計画	素案
<p>◇これまで育成してきたアスリートが、遠征試合や強化合宿を重ねることで、技術面・精神面での成長を遂げ、国体やインターハイにおいて上位に入賞するなど成果をあげています。</p> <p>◇成年選手や指導者の雇用の受け皿を整えています。</p> <p>◇選手・チームのコンディショニングを支えるスポーツドクター、トレーナーなどのスタッフを組織化し、有効に機能しています</p>	<p>◇これまで育成してきたアスリートが、遠征試合や強化合宿を重ねることで、技術面・精神面での成長を遂げ、国体やインターハイにおいて上位に入賞するなど成果をあげています。</p> <p><u>◇滋賀ゆかりの選手がオリンピックやパラリンピックその他の国際大会で活躍しています。</u></p> <p>◇成年選手や指導者の雇用の受け皿を整えています。</p> <p>◇選手・チームのコンディショニングを支えるスポーツドクター、トレーナーなどのスタッフを組織化し、有効に機能しています。</p>

◆継続期の目標…競技水準の定着
継続期に目指す姿

現行計画	素案
<p>◇県内各地で選手強化活動が継続して展開され、安定した高い競技水準を維持しています。</p> <p>◇滋賀の子が、滋賀でスポーツを続け、全国大会等で活躍しています。</p> <p>◇成年選手にとって競技を継続しやすい環境を整えています。</p> <p>◇本県出身の選手が指導者やスタッフとしてスポーツに関わり、本県スポーツ推進を支えています。</p>	<p>◇県内各地で選手強化活動が継続して展開され、安定した高い競技水準を維持しています。</p> <p>◇滋賀の子が、滋賀でスポーツを続け、全国大会等で活躍しています。</p> <p>◇成年選手にとって競技を継続しやすい環境を整えています。</p> <p>◇本県出身の選手が指導者やスタッフとしてスポーツに関わり、本県スポーツ推進を支えています。</p> <p><u>◇障害のある人と共にスポーツを楽しむ共生社会が実現しています。</u></p>

滋賀県競技力向上基本計画（概要版）

（平成26年度策定）

目標

計画の着実な推進のためには、明確な目標の設定が必要と考えられることから、滋賀県競技力向上基本計画の目標を

●第79回国民体育大会における男女総合優勝である天皇杯獲得とします。あわせて、以下の2点を目指します。

○平成27年から平成36年までの10年間にオリンピック・パラリンピックなどの国際大会に出場する本県ゆかりの選手30人以上の輩出

○国体終了後も本県の競技スポーツの発展に努め、国体を契機に高めた全国トップレベルの競技水準の定着

これらの目標達成に向けた取組を通じ、県民が夢や希望を育み、活力ある元気な滋賀を実感できる、幸福で豊かな共生社会の実現を目指します。

本県の競技力の主な現状

- 国民体育大会の天皇杯順位
〔平成25年度 40位、平成26年度 35位、平成27年度 24位、平成28年度 33位〕
- 全国高校総合体育大会 入賞数 22 全国中学校総合体育大会 入賞数 14 〔H28年度〕
- 滋賀県ゆかりのオリンピック・パラリンピック出場者数 リオ：14名

段階的目標

平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年～
10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年	開催後～
長崎	和歌山	岩手	愛媛	福井	茨城	鹿児島	三重	栃木	佐賀	滋賀	
オリンピック パラリンピック	リオデジャ ネイロ		ピョンチャン			東京		未定		未定	
滋賀県競技力向上対策本部											
準備期			充実期				躍進期			継続期	
強化拠点の構築			アスリートの育成				アスリートの実力向上			競技水準の定着	
指導者の確保			躍進期の選手育成を支える指導者の確保				強化スタッフ体制の確立				
国体目標点数:1,000点			国体目標点数:1,200点				1,500点 1,600点 1,800点 2,400点			1,200点	
国体目標順位:20位台			国体目標順位:10位台				10位以内 8位以内 5位以内 優勝			15位以内	
インターハイ入賞数:30			インターハイ入賞数:40				50 60 80 100			50	

課題

- 優秀な選手が県外に進学する
- 成年選手が競技を継続できない
- 明確な目標が選手に必要な
- 女性選手の競技継続が難しい
- 障害者スポーツの選手確保

対策・取組

選手の育成強化

- ①ジュニア選手の発掘・育成・強化
- ②成年選手の育成・強化・確保
- ③オリンピック・パラリンピック候補選手の活動支援
- ④女性アスリートの育成・強化
- ⑤障害者スポーツの普及・選手の拡大

選手を伸ばす

課題

- 指導者の高齢化・指導者不足
- 指導者の資質向上
- 組織的な指導体制の構築
- 女性指導者の不足
- 障害者スポーツの指導者不足

対策・取組

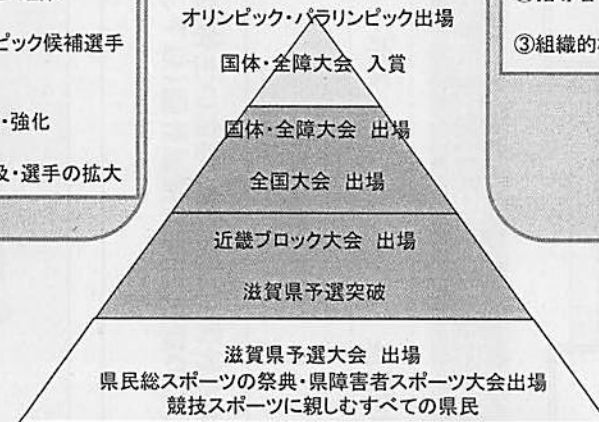
指導体制の充実

- ①指導者の確保
- ②指導者の養成・資質向上
- ③組織的な競技力向上の推進



滋賀県の 競技力向上を 図るには！

トップアスリート育成



課題

- 各競技の強化活動を効果的に行う必要がある
- 滋賀県の自然環境を活かした競技種目の重点強化が有効
- 選手の競技活動を支える環境の整備が必要
- 県全体で競技選手を応援する機運の醸成

選手を支える

対策・取組

強化拠点の構築・環境の整備

- ①強化拠点の構築
- ②施設の整備・競技用具の充実
- ③医科学サポート体制の整備

- ④選手・指導者の参加体制の整備
- ⑤交流・連携の促進
- ⑥広報を通じた県民の機運醸成



